

平成26年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
1 確かな学力の育成	『学び』創造委員会で育成したい学力の目標を「主体的に学び、考え、表現する力」とし、プレテーマ学習・テーマ学習の実践とともに授業改革の取組も始めた。今後、目標実現のため更なる取組の推進が必要である。	学力の定着	1単位39時間の授業時間を確保する	年間行事予定を守り、急な授業カット・短縮授業を削減	B	概ね達成できた。	B
			組織的、計画的に授業改革を推進する	教科会や授業公開週間での授業研究の推進 年1回の授業評価(アンケート)の実践	C	ほぼ達成できた。	B
			実習や活動を通して系列の充実を図る	教科会の定例化と学習委員会での内容検討を充実	B	教科会は定例化されてきたので、次年度は全教科に広げたい。学習委員会は教育課程は機能しているが、生徒の学習ビジョンについて検討が出来ていない。実習は計画通り実施できたが、見直しが必要な点は再検討する。多読は達成できた。	B
				保育施設実習・介護施設実習の実施			
				野外(体育)実習の実施			
			発展的学力を支援する	英語での多読指導の導入	B	学力の定着と進路実現に結びつけられるよう取り組めた。	B
				講習の実施と内容の充実			
		思考力、判断力、表現力の向上	資格取得を推進し、前年超の取得者を出す	受験者増のため各種検定試験の案内を周知 合格者増のためのきめ細かい受験指導	B	家庭科ではほぼ予定通り実施し、生徒は意欲的で、例年を越える合格率の伸びもあった。商業科では長期休業中の補習、放課後の指導を実施し合格者増と生徒の能力伸長へきめ細かく取り組んだ。	B
			課題解決能力育成のためテーマ学習とプレテーマ学習の充実を図る	有識者講演会、社会人講話の実施 受験も視野に入れたプレゼンテーション力の育成 学習成果発表会の開催	B	学習成果発表会は観覧者から高い評価を得た。特にテーマ学習は企業とのコラボで生徒への刺激もあり良い内容となった。校外に出ることも多く、生きる力をつけるための社会勉強をする機会にも恵まれた。	B
				『学び』創造委員会をベースにした実践公開の活性化 ジグソー理論を含む学習理論研修への参加促進			
				小論文の指導力向上を図る	B	委員を中心に意欲的・積極的な取組がみられるようになった。	B
			外部指導者を利用して表現力の育成を図る	外部講師による研修会と校内研修会の実施 デッサン講習会の開催 社会人講師による「美術鑑賞セミナー」	B	大学・短大の推薦入学の合格実績が着実に実を結んでいる。	B
			困り感のある生徒の指導	教育相談部主催の情報交換会の開催 いじめ対策委員会の定期的な開催	B	随時情報交換を実施しており、情報交換会も開催した。委員会も定期的に開催しアンケートも実施した。	B
				実効的な特別支援体制を維持	B	生徒個々に応じて委員会などを開き、適切な対応を心がけた。	B
				遅刻者数の更なる削減を図る(前年比30%減)	C	遅刻者数が前期は多かったが、12月末時点で昨年度比14%減と改善してきた。	B
2 豊かな人間性の育成	「基本的な生活習慣の確立」は遅刻者の減少など着実に成果をあげており、今後もさらに継続する必要がある。また、生徒会、部活動、環境、国際理解などへの参加は、主体性のある人間性を育成する意味で、今後益々重要になってきている。	規律指導	正しい服装の着こなし指導の徹底を図る	朝の校門指導の実践 多遅刻者への事後指導の徹底 着こなしセミナーの実施 生活指導部発信の全職員による指導の推進	C	毎月の服装点検やクラス掲示等で、意思統一を図りながら正しい着用について指導に取り組んだ。	B
			あいさつ習慣を定着させる	マナーアップキャンペーン、あいさつ運動の展開	C	マナーアップ運動など生徒会と協力した取り組みができたが、一層の向上を目指し更なる連携が必要である。	B
		環境教育	環境に対する関心の育成	TEAS活動の推進、環境講演会の実施	B	各活動は着実に遂行した。	B
			生徒会活動と部活動の活性化	執行部会の実動と、学校祭等への主体的取組の促進 特別支援学校との交流活動	B	執行部は各行事に積極的に参加活動をしてきた。学校祭アンケートでも86%の生徒が満足したと回答。特別支援学校との交流活動については、再検討もあろう。	B
		読書のすすめ	部活動加入率80%以上を維持する	1年生への部活加入調査の実施、見学日程の周知、工夫を凝らした部紹介と一斉部登録の実施	B	年度当初の加入率は約88%であったが、その後に退部して未加入の生徒の対応を考える必要がある。	B
			読書のすすめ	確実な一斉読書体制の維持 朝読書時の指導体制の改善	B	概ね良好。しかし遅刻者への対応など課題はある。	B
		国際理解教育	国際交流事業を促進する	韓国での海外研修の実施 アメリカSTA高校への研修派遣	B	韓国での研修は帰国後の学習意欲の向上に繋がった。STA派遣に向け、勉強会を開き、意欲的に準備させている。	B

評価基準 A: 目的・目標を達成した B: ほぼ計画(予定)どおり推進している C: 取り組みとしてはやや遅れている(取組は進めたが、成果が出ていない) D: 一層の(新たな)取組が必要

平成26年度 学校自己評価表

鳥取県立米子高等学校

中長期目標 (学校ビジョン)	生徒の個性・能力の伸長をはかりながら、確かな学力と豊かな人間性の涵養に努め、地域に信頼され地域に貢献する人材を育成する。	今年度の重点目標	1 確かな学力の育成 2 豊かな人間性の育成 3 自己実現のための進路指導の充実 4 地域との連携による学校づくり
-------------------	--	----------	--

評価項目	現状	具体項目	具体目標	具体方策	中間評価	評価に対するコメント	最終評価
3 自己実現のための進路指導の充実	「進路実現」において安易なものから、身の丈の少し上にチャレンジする傾向が現れてきたことで、生徒の可能性をきちんと把握し伸ばす指導力が求められている。	キャリア教育の推進	産社の取組みの充実	学びEXPO(社会人講話、学校・事業所見学)の展開	B	予定通り実施。高校で学ぶ心構えができた。	B
			進路探究心の育成	進路講演会の実施	B	具体的な指導を受け、進路意識の向上に結びついた。	B
		進路指導の充実	適切な科目選択指導	教員間の情報交換と十分な面接時間の確保	B	有効に活用は出来ているが、時間確保には課題があり、学年の工夫に負う面もあった。	B
			教員の指導力向上	先進校視察の実施	B	得た情報を共有し、有効に活用した。	B
			進路情報の発信	進路だよりの刊行	A	時期ごとにタイムリーな内容で昨年の倍の発行ができた。	A
			チャレンジする姿勢づくり	校外模試の実施と受験の促進	B	推薦希望者全員が、条件である模試の回数をクリアした。	B
			組織的な進路指導体制の構築	進路情報交換会の開催と活用	B	3年生に大変有効だが、他学年の活用にはまだ課題がある。	B
		進路希望の実現	就職希望者全員内定と	進路指導部と担任の連携によるきめ細かい個別指導	B	就職希望者は100%内定を達成出来た。国公立大学等の進学実績も昨年並みに達成出来たし、薬学部への合格も出た。さらに実績を伸ばすためにも1年次の早期の指導を一層意識する必要がある。	A
			国公立大学等への進学実績				
4 地域との連携による学校づくり	「地域貢献活動」は自分たちの活動を発信するだけでなく、地域の人々との関わりを持ち、地域への感謝を表す場となる必要がある。	地域貢献と社会参画	地域の美化に貢献する	コスモスロード、通学路清掃の実施	B	11月のコスモスロード整備はこの2年実施出来ておらず、実施時期を含めて見直す必要がある。	B
			社会とつながる教育	法や金融等の専門家による講演会、出前授業等の推進	B	法や金融等の専門家による講演会は実施しなかったが、推進に向けて視察を行った。市街地活性化とファミマスイーツはマスコミにも取り上げられ地域から注目され評価された。テーマ学習に新たな要素を加えたことは進路実現の面でも有益だった。	A
		情報発信	教育活動を常時発信する	ホームページの頻繁な更新	B	部活動等は頻繁にできたが、行事予定などは更新が遅れた。	B
			特色ある芸術教育を発信する	総合美術展の開催	B	5年ぶりに米子市美術館で開催し、2年ぶりに学年ごとの鑑賞教室も実施出来た。	B
		近隣の公民館、中学校、施設との連携	文化部活動のアピールを推進する	パフォーミングアーツの開催(演劇・ダンス・)	B	「ハイホット」では多くの来場者があり、地域と関わる機会となった。ダンス部は成実公民館祭に参加、吹奏楽部はサマーブラコンサート、総合音楽会、ふれあい農業祭に参加し、地域のゲストを招いて定期演奏会を開催した。	A
				ハイホットダンスフェスティバルの開催(ダンス)			
				成実公民館祭、尚徳地区生き生きフェスタ等への参加			